

4. 甘地駅・鶴居駅周辺地区まちづくり基本構想の検討

4-1 甘地駅周辺地区基本構想

(1) まちづくりの方向性

基本理念

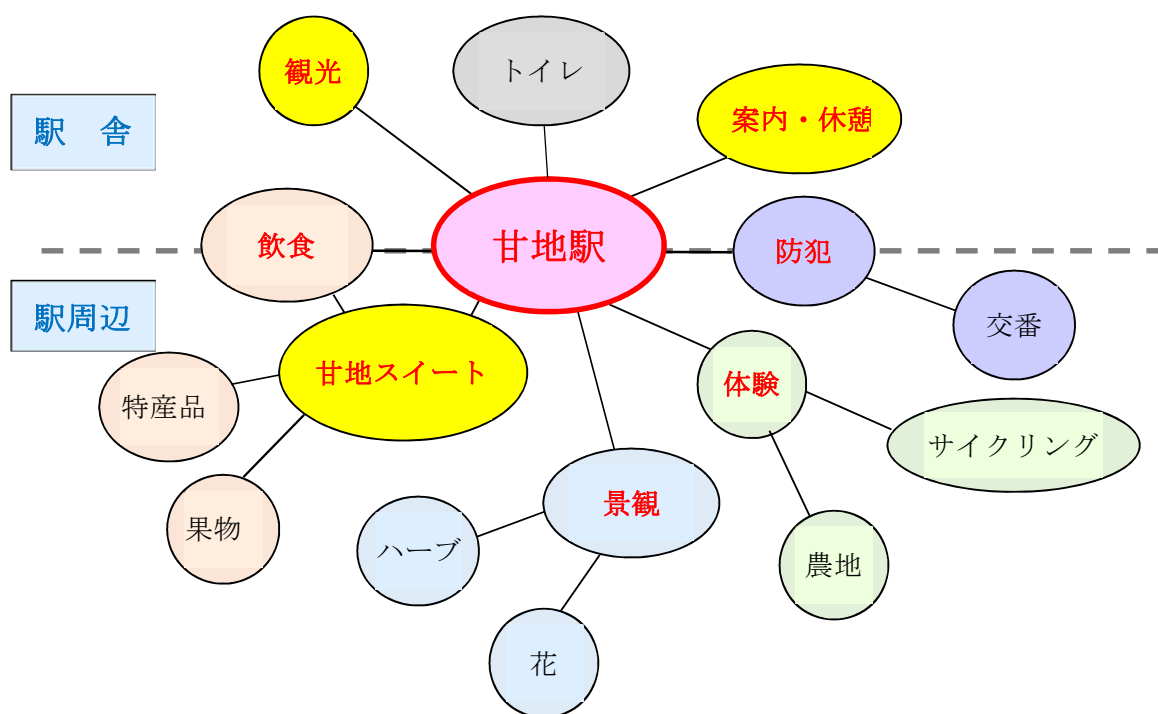
甘地駅、鶴居駅周辺を、地域コミュニティや観光振興の拠点として活用するための基本的な考え方を表現する。

「駅をまちづくり、観光振興の活性化拠点、

町の顔として活用する」

「安全・安心で快適な交通・ネットワーク拠点とする」

○甘地駅周辺：「豊かな土壌がまねくスイートな出会い」



甘地駅周辺の機能イメージ

(2) 基本方針

基本理念を実現するため、取り組むべき内容の進め方について明らかにする。活用方法、主体を設定して、施設整備を進めることが望ましい。

「駅舎を含む駅前広場を町の玄関口として、地域と来訪者のふれあいの場とする」

「駅前広場を、安全・安心で快適な交通拠点として整備する」

「幹線道路、交差点を安全・快適な地域交通や観光ネットワークとして整備する」

(3) 甘地駅周辺整備の方向性

○位置づけ

テーマ：「豊かな土壌がまねくスイートな出会い」

- ▶ 甘地駅周辺は、市川町全体の活性化に資する仕掛けづくりに挑戦する。甘地の名前にちなんだ“スイートランド”をテーマにした場づくりを行う。
- ▶ 役場周辺をシビックゾーン、市川高校、川辺小学校、市川町文化センターを結ぶ文教ゾーン、商業施設が集積する商業ゾーン、市川水際部をスポーツレクリエーションゾーンと設定する
- ▶ 駅から市川南ICを結ぶ動線を、上記のゾーンをつなぎ合わせる連携軸とする。
- ▶ 駅周辺はチャレンジゾーンとして活性化の起爆剤となる取り組みの場とする。

○チャレンジゾーン整備イメージ（案）

- ▶ 甘地駅周辺部を、駅前5差路を改良しながら駅前広場や駐車場を整備し、道の駅・まちの駅として人や情報がつながる一体的な空間を目指す。
- ▶ 駅利用者のみならず自動車利用者や近隣住民も、憩い・交流する場として、駅舎を改良する。休憩スペースや観光案内、カフェ、ギャラリーを配置する。
- ▶ 交通ネットワークのターミナルとして駅前広場の整備を図る。自動車利用者のための停車スペースや駐車場整備、自転車利用者の駐輪場、タクシープールやコミュニティバス停留所スペース、清潔で使いやすいトイレの改良、市川町の玄関口としての修景デザイン等を設定する。
- ▶ 駅前広場の拡大に伴い、JA施設を改良し“スイートランド”として飲食施設（チャレンジショップ等）やイベントスペース、レンタサイクル、トイレ等を整備する。

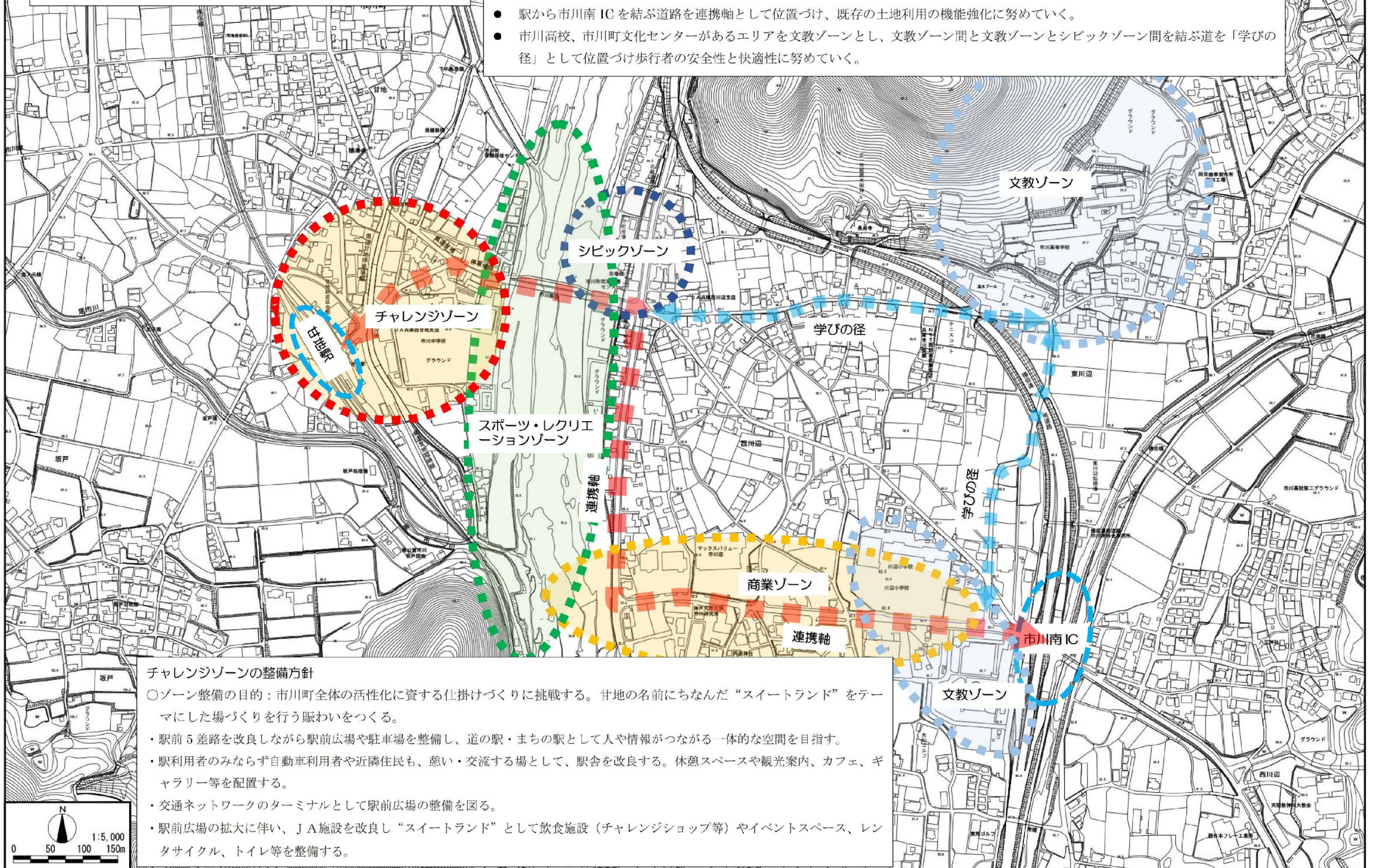
○周辺整備イメージ（案）

- ▶ 連携軸の強化を図るため、県道甘地停車場線を改良するとともに駅前5差路を改良する
- ▶ 駅西側は空き地となっていることから、スイートランドにちなんだフルーツやハーブ、花を栽培し訪れた人が景観を楽しんだり、体験できる空間とする。
- ▶ 市川水際部に親水施設を設け、川を活用したスポーツレクリエーション空間とする。

甘地駅周辺地区ゾーン形成のイメージ（案）

まちづくりの骨格

- 甘地駅周辺は、市川町全体の活性化に資する仕掛け創りに挑戦していくことを念頭に置いたチャレンジゾーンとして位置づける。
- 駅から市川南 IC を結ぶ道路を連携軸として位置づけ、既存の土地利用の機能強化に努めていく。
- 市川高校、市川町文化センターがあるエリアを文教ゾーンとし、文教ゾーン間と文教ゾーンとシビックゾーン間を結ぶ道を「学びの径」として位置づけ歩行者の安全性と快適性に努めていく。



チャレンジゾーンの整備方針

- ゾーン整備の目的：市川町全体の活性化に資する仕掛けづくりに挑戦する。甘地の名前になんだ“スイートランド”をテーマにした場づくりを行う賑わいをつくる。
- ・駅前5差路を改良しながら駅前広場や駐車場を整備し、道の駅・まちの駅として人や情報につながる一体的な空間を目指す。
 - ・駅利用者のみならず自動車利用者や近隣住民も、憩い・交流する場として、駅舎を改良する。休憩スペースや観光案内、カフェ、ギャラリー等を配置する。
 - ・交通ネットワークのターミナルとして駅前広場の整備を図る。
 - ・駅前広場の拡大に伴い、JA施設を改良し“スイートランド”として飲食施設（チャレンジショップ等）やイベントスペース、レンタサイクル、トイレ等を整備する。

4-2 鶴居駅周辺地区基本構想

(1) まちづくりの方向性

基本理念

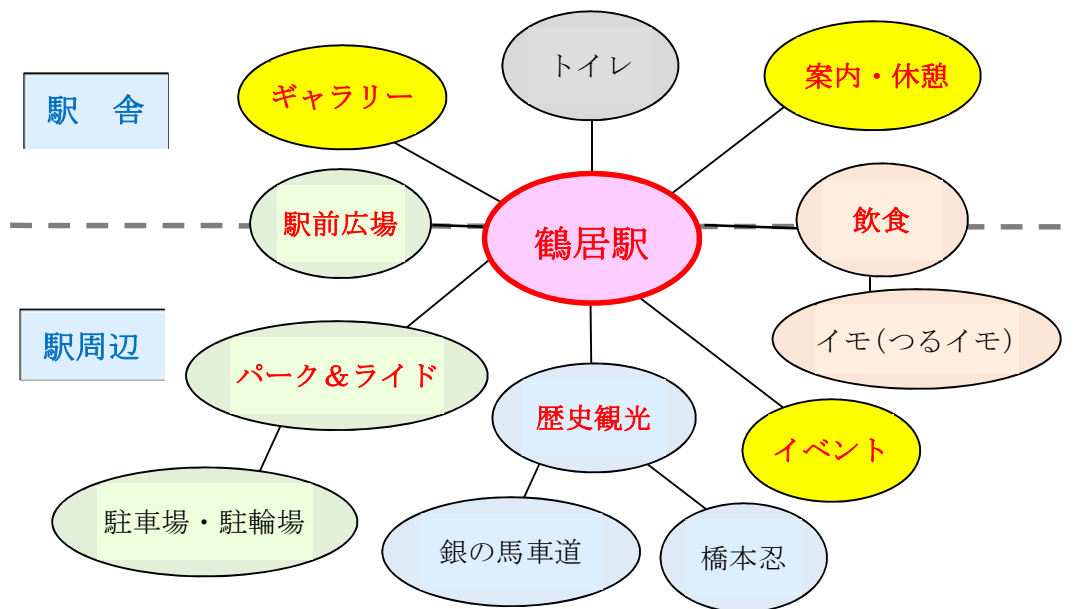
甘地駅、鶴居駅周辺を、地域コミュニティや観光振興の拠点として活用するための基本的な考え方を表現する。

「駅をまちづくり、観光振興の活性化拠点、

町の顔として活用する」

「安全・安心で快適な交通・ネットワーク拠点とする」

○鶴居駅周辺：「昔話で花を咲かせるにぎわいづくり」



鶴居駅周辺の機能イメージ

(2) 基本方針

基本理念を実現するため、取り組むべき内容の進め方について明らかにする。活用方法、主体を設定して、施設整備を進めることが望ましい。

「駅舎を含む駅前広場を町の玄関口として、地域と来訪者のふれあいの場とする」

「駅前広場を、安全・安心で快適な交通拠点として整備する」

「幹線道路、交差点を安全・快適な地域交通や観光ネットワークとして整備する」

(3) 鶴居駅周辺整備の方向性

○位置づけ

テーマ：「昔話で花を咲かせるにぎわいづくり」

- ▶ 鶴居駅周辺は、地域の活性化に資する**仕掛けづくり**に挑戦する。鶴居地区は「銀の馬車道」ルートになっている屋形のまちなみや屋形橋、橋本忍氏の生家、鶴居地域活性化協議会が取り組む鶴女房の伝説など歴史的な資源や施設が数多く残っており、これらを辿りながら地域の魅力を感じてもらおうようにする。
- ▶ 屋形のまちなみを**歴史ゾーン**、鶴居駅南部には工業団地をはじめとする工場ほか事業場が多数立地する**インダストリアルゾーン**と設定する、今後も企業誘致が進むよう**産業連携軸**としての道路改良等を行っていく。
- ▶ 駅から歴史ゾーンを結ぶ動線を**景観形成軸**とする。
- ▶ **鶴居駅周辺はチャレンジゾーン**として駅前広場や鶴居地域活性化センターなどを中心に交通のターミナル、活性化の拠点となる取り組みの場とする。

○チャレンジゾーン整備イメージ（案）

- ▶ **鶴居駅舎**は、駅舎を改良し休憩や橋本忍のギャラリーを設定し、トイレを改修する。
- ▶ **駅前広場**を拡大し、乗用車やコミュニティバスの乗降スペース駐車場の整備を図るとともに、鶴居地域活性化センターとの連携性を高め、橋本忍氏の成果や周辺の趣きのある**昭和の町並み**を巡れるようにする。
- ▶ 幹線道路からのアクセスの改善や屋形の町並みや名産となりつつある鶴いも畑、鶴女房にちなんだ皿池などへのネットワーク性を高める**サイン等の整備**を行う。
- ▶ 鶴居地域活性化センターに隣接するJA敷地に**大型バス駐車場**を設定する。



駅前の昭和の風情が残る町並み



壁画を制作中の鶴居地域活性化センター

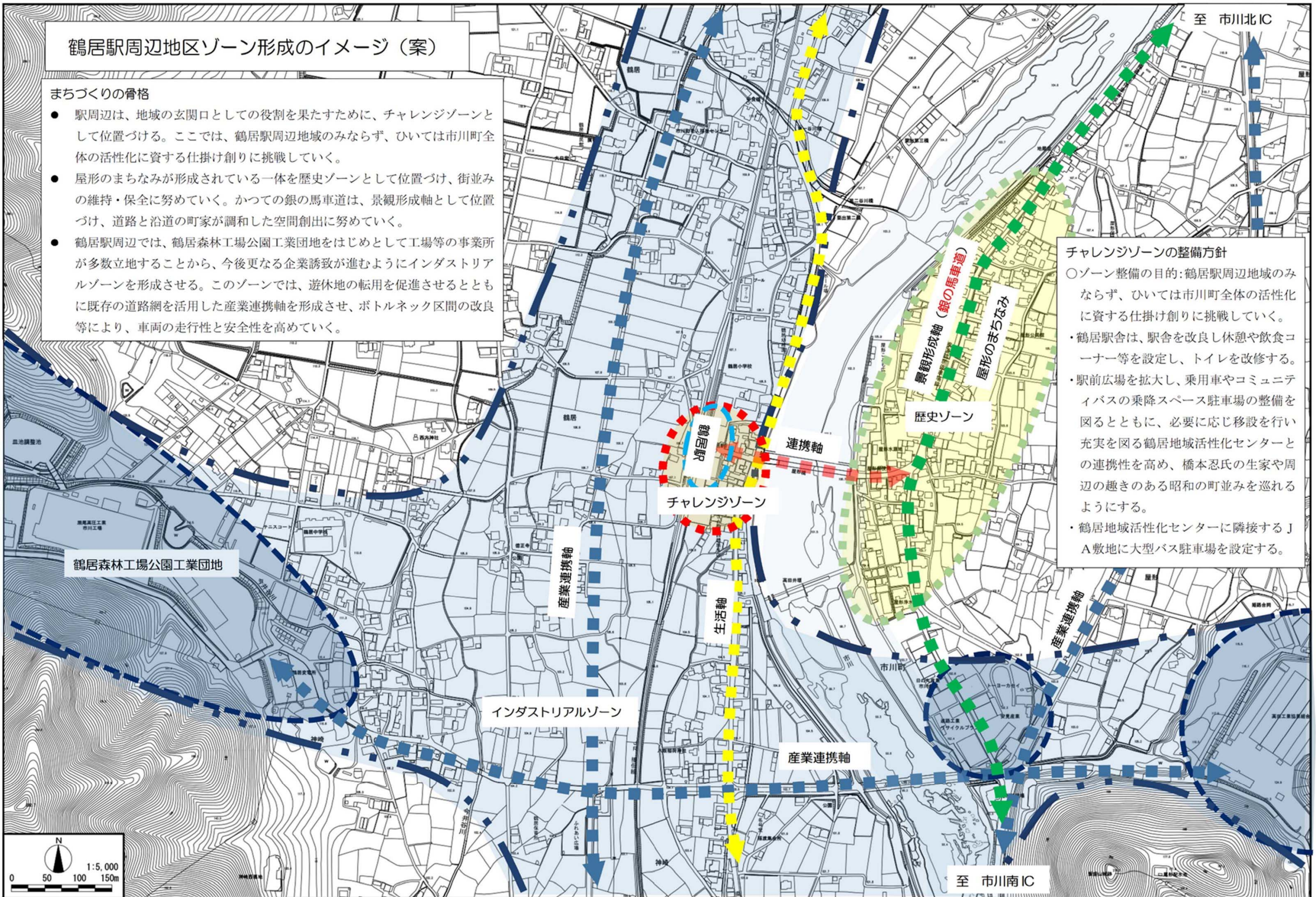
鶴居駅周辺地区ゾーン形成のイメージ（案）

まちづくりの骨格

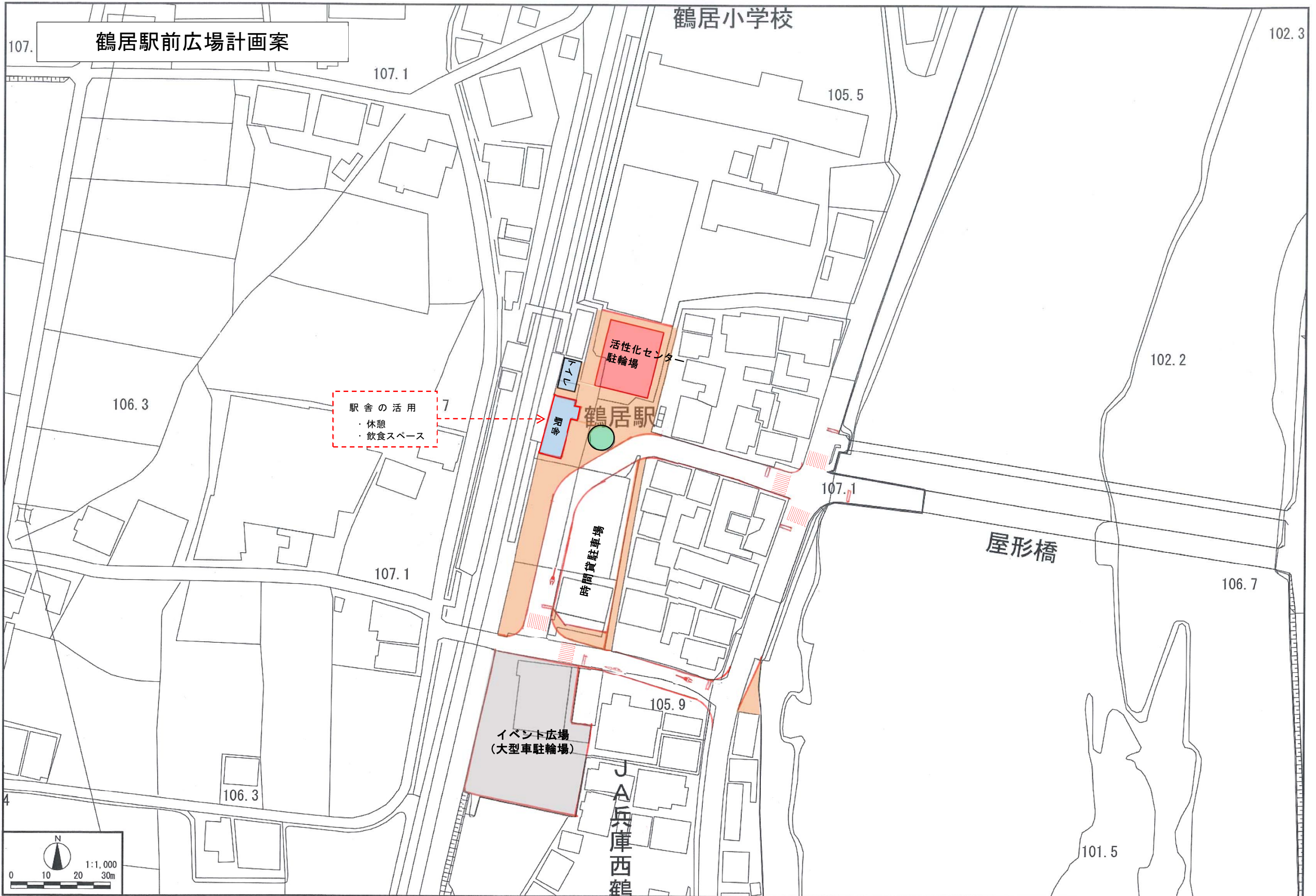
- 駅周辺は、地域の玄関口としての役割を果たすために、チャレンジゾーンとして位置づける。ここでは、鶴居駅周辺地域のみならず、ひいては市川町全体の活性化に資する仕掛け創りに挑戦していく。
- 屋形のまちなみが形成されている一体を歴史ゾーンとして位置づけ、街並みの維持・保全に努めていく。かつての銀の馬車道は、景観形成軸として位置づけ、道路と沿道の町家が調和した空間創出に努めていく。
- 鶴居駅周辺では、鶴居森林工場公園工業団地をはじめとして工場等の事業所が多数立地することから、今後更なる企業誘致が進むようにインダストリアルゾーンを形成させる。このゾーンでは、遊休地の転用を促進させるとともに既存の道路網を活用した産業連携軸を形成させ、ボトルネック区間の改良等により、車両の走行性と安全性を高めていく。

チャレンジゾーンの整備方針

- ゾーン整備の目的: 鶴居駅周辺地域のみならず、ひいては市川町全体の活性化に資する仕掛け創りに挑戦していく。
- ・ 鶴居駅舎は、駅舎を改良し休憩や飲食コーナー等を設定し、トイレを改修する。
- ・ 駅前広場を拡大し、乗用車やコミュニティバスの乗降スペース駐車場の整備を図るとともに、必要に応じ移設を行い充実を図る鶴居地域活性化センターとの連携性を高め、橋本忍氏の生家や周辺の趣きのある昭和の町並みを巡れるようにする。
- ・ 鶴居地域活性化センターに隣接するJA敷地に大型バス駐車場を設定する。







4-3 事業スケジュール

(1) 鶴居駅周辺整備 整備計画スケジュール

テーマ『豊かな土壌がまねくスイートな出会い』

1) 兵庫県との事業調整スケジュール

年度	2014～18	2019～23		2024～28		2029～33	
	前期	後期		前期	後期		
兵庫県社会基盤整備プログラム		2019～21 県協議、(仮)勉強会中播磨県民センター					
			2021～22 県協議(土木)				
				2022～23 社基ブ採択要望			
改良工事					甘地駅前交差点改良工事		

●検討内容

○2021 県協議(勉強会)

- ・整備計画の策定にあたり、県各分野の意見を聞く。(発注前に開き、具体的な業務内容を詰める)

○2022 県協議

- ・県道・交差点概略設計

2) 市川町事業スケジュール

年度	2018	2019	2020	2021 着工	2022
①基本構想	基本構想				
②基本計画	パブコム	基本計画			
③基本設計、実施計画		JRとの協議	基本設計 一部実施計画	実施計画	
④詳細設計 工事着手			JRとの協議	一部詳細設計	詳細設計 工事着手
⑤駅舎計画			駅舎改装実施計画	駅舎改装詳細設計	工事着手
⑥トイレ改装			トイレ棟改装実施計画	下水道整備、トイレ棟詳細設計	工事着手
⑦供用					供用開始

●検討内容

○2019 基本計画 JR協議

- ・駅周辺整備について
 - ・駅舎の改装、及び利活用
 - ・トイレ棟の改修
 - ・一線化、またはエレベーターの設置要望

○2019 基本計画 地元説明会・意見交換会

- ・区長会を中心として意見交換する。
- ・創生本部会議

○2020 駅舎改修実施計画 JR協議

- ・駅舎の改装、実施設計
- ・トイレの改装、実施設計
- ・一線化またはエレベーターの設置要望

○2021 地元の協力体制強化

・事業者の応募意向

(2) 鶴居駅周辺整備 整備計画スケジュール

テーマ『昔話で花を咲かせるにぎわいづくり』

1) 事業スケジュール

年度	2018	2019	2020	2021	2022
①基本構想	基本構想				
②基本計画		基本計画			
③基本設計、 実施計画			基本設計、 実施計画		
④詳細設計				詳細設計	
⑤工事着手					工事着手